

～学生主体の新しい学士課程の創成～

Finding Your Own Way

「複数プログラム選択履修制度」がスタート



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

2011



2011年度から、お茶大では新しい専門教育課程が始まります。

複数プログラム
選択履修制度

お茶の水女子大学で始まる新しい専門教育課程

キーワードは、深い専門性と幅広い教養の育成、
各人の〈主体的な学び〉の構築です。



教育機構長(理事) 耳塚寛明

皆さんは、大学の専門教育と聞くと、どういうことをイメージするでしょうか。「大学とは、世界を成り立たせているさまざまな仕組みを学術的で専門的な方法で研究するところだ。だから、大学の専門教育も深い学問に根差した知識や技能の基礎を教えてくれるはずだ。」たぶん、このようなイメージではないでしょうか。もちろん、深い学問的な知識や技術はとても大切なものです。けれども、お茶の水女子大学で学びたいと思っている皆さんの中には、深く専門的な知識を学びたいと考えている人ばかりではないでしょう。将来の進路を考えて、幅

広くさまざまな分野の知識や技能を身につけたいと考えている人や、分野を横断した最先端の学問領域や、国際理解を深めたいと考える人もいることでしょう。

一人ひとりの意欲やニーズに柔軟に対応する専門教育課程の構築—こうしたみなさんの願いを実現するのが、お茶の水女子大学が始める「複数プログラム選択型」の専門教育課程です。下の図は、「21世紀型リベラルアーツ」教育を基礎とする広い視野のもとに、基礎と専門を歯車のように連携してこの目標を構築させる関係を表しています。

教育改革の方向性 学生主体の新しい学士課程の創成



21世紀型リベラルアーツ教育を踏まえた高度な専門基礎教育

学習したい高度な専門性と幅広い見識のバランスを考えながら、
あなた自身が主体的に自らの学修プロセスを構築できる制度です。

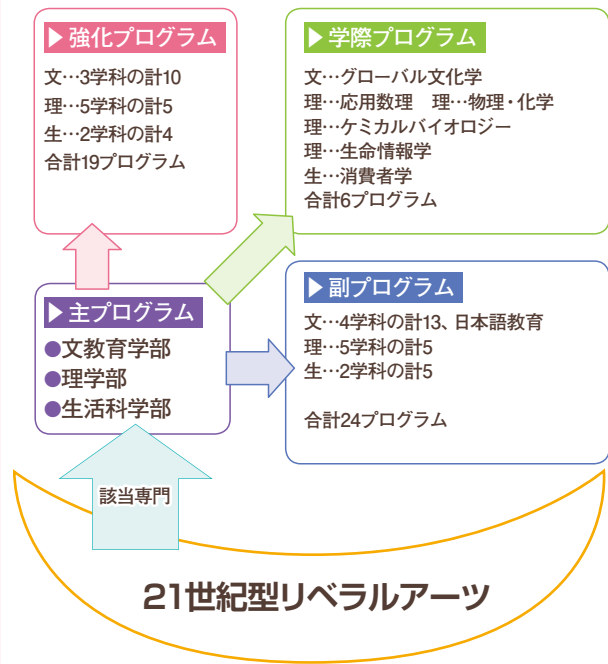
多様で主体的な学びの構築へ プログラムの組み合わせを選ぶ皆さんが主人公です。



教育企画室長 小林哲幸

新しい専門教育課程の構築に先立ち、お茶の水女子大学は21世紀型リベラルアーツを発信し、基礎となる講義や演習に参加することにより、1年生から広い視野から多角的に世界にかかわる問題を見ることを学べるようにしました。このリベラルアーツ教育に接続される新しい専門教育課程は、専門的な知識や技能の基礎を学ぶ「**主プログラム**」、専門分野に特化した深い専門性を培う「**強化プログラム**」、皆さんが専攻した分野とは異なる学習を学ぶ「**副プログラム**」、さまざまな分野を融合する最先端の学際型の知識や技能を学ぶ「**学際プログラム**」の4種類から成り立っています。そして、皆さんは、自分のニーズに合わせて、この四つのプログラムを自由に結びつけることができます。ですから、「複数プログラム選択型」の専門教育の主人公は、皆さん自身です。この新しい専門教育課程を生き生きと意欲的に自分でレイアウトしていくとき、皆さんは、深い専門性と幅広い教養を備えた自主・自律の精神に富む女性として社会に羽ばたいていけるはずです。右の図は、多様な学びを可能にする3方向のプログラム選択パターンについて紹介したイメージです。

プログラム選択パターン



きめ細やかな学修支援体制 主体的な学習プロセスの構築をサポートします。



総合学修支援センター
アカデミックアシスタント

『何を学ぶのかを決めるのは皆さんですよ』と言われても、私にできるだろうかと不安になる人もいるかもしれません。たしかに、「複数プログラム選択型」専門教育課程は、今までの大学教育と比べても、学ぶ皆さんの自由度が高いことに特徴があります。でも大丈夫です。お茶の水女子大学は、これまで以上にきめ細やかな学修支援体制を整備するため、総合学修支援センターを設置して、専門のスタッフが情報関連機器を活用しながら皆さんの主体的な学びをサポートします。ですか

ら、困ったときや迷ったときには、安心してサポートを受けることができるようになっています。

また、それぞれのプログラムを構成している科目に、学修の順序性や難易度を表す色分けによるカラーコードをつけました。これにより、カリキュラムの構造を視覚的に把握できるようになり、プログラムを選択するときに、どのような順番と組み合わせで各科目を履修すればよいのか判断しやすくなりました。



お茶大 新しい専門教育課程

あなた自身が主体的な学習プロセスを構築し、深い専門性と幅広い教養を兼ね備えた自主・自律の精神に富む女性になるための教育—それが「複数プログラム選択履修制度」です。

▶主プログラム

各専門領域の基礎的な知識や技能を、一貫的、調和的に修得するためのプログラムです。

選択プログラム群

- ①文教育学部
3学科 (10プログラム)
+グローバル文化学
- ②理学部
5学科 (5プログラム)
- ③生活科学部
2学科 (4プログラム)
の計20プログラムを提供

▶強化プログラム

各専門領域のより高度な科目群からなり、専門領域に特化した深い専門性を培うためのプログラムです。

選択プログラム群

- ①文教育学部
3学科 (10プログラム)
- ②理学部
5学科 (5プログラム)
- ③生活科学部
2学科 (4プログラム)
の計19プログラムを提供

主プログラム
強化プログラム

◆主プログラム・強化プログラムの提供学科・コース・講座

文教育学部の学科構成



理学部の学科構成



生活科学部の学科構成



※1 文教育学部 芸術・表現行動学科は、複数プログラム選択履修制度とは異なる専門教育カリキュラムに従って学習します。なお、芸術・表現行動学科で学んでも、ニーズに応じて「副プログラム」「学際プログラム」を選択することができます。

※2 グローバル文化学を「主プログラム」とする履修者は、必修プログラムとして、グローバル文化学「主プログラム」と所属学科のいずれかのコースの提供する副プログラムを履修します。

※3 生活科学部 食物栄養学科は、複数プログラム選択履修制度とは異なる専門教育カリキュラムに従って学習します。なお、食物栄養学科で学んでも、ニーズに応じて「副プログラム」「学際プログラム」を選択することができます。

履修方法

- 主プログラムと二番目のプログラム（強化プログラム・副プログラム・学際プログラム）の履修は必修です。
- 主プログラム（必修）は、所属学科の開設する主プログラムから選択すること。
- 二番目のプログラム（必修）は、所属学部が開設するプログラムから一つを選択すること。
- 強化プログラムを選択するときは、同一の主プログラムを履修することが履修条件となります。
- 履修している主プログラムと同領域の副プログラムを履修することはできません。
- 三番目のプログラムは、「副プログラム」「学際プログラム」から一つを履修することができます。



主体的にキャリア形成する学びへ

複数プログラム選択履修制度は、プログラムの組み合わせを選ぶ皆さんが主人公です。

▶ 副プログラム

学生の多様な能力・適性
および学習意欲に応え、
専門とは異なる分野の幅
広い学習機会を提供する
ためのプログラムです。

選択プログラム群

- ①文教育学部
4学科 (14プログラム)
日本語教育
- ②理学部
5学科 (5プログラム)
- ③生活科学部
2学科 (5プログラム)
の計24プログラムを提供

▶ 学際プログラム

新たな領域融合型ないし
学際型の専門領域に即
応し、先端研究分野等
で要請される新しいタイプ
の専門人材養成に対応
するプログラムです。

選択プログラム群

- ①文教育学部
グローバル文化学
- ②理学部
応用数理、物理・化学、ケミカルバイオロジー、生命情報学
- ③生活科学部
消費者学
の計6プログラムを提供

副プログラム
学際プログラム

▶ 副プログラム

プログラム提供学部	プログラム名
文教育学部	哲学・倫理学・美術史 比較歴史学 地理環境学 日本語・日本文学 中国語圏言語文化 英語圏言語文化 仏語圏言語文化 日本語教育 社会学 教育科学 心理学A 心理学B 舞踊教育学 音楽表現
理学部	数学 物理学 化学 生物学 情報科学
生活科学部	人間・環境科学 発達臨床心理学 公共政策論 ジェンダー論 生活文化学

▶ 学際プログラム

プログラム提供学部	プログラム名
文教育学部グローバル文化学環	グローバル文化学
理学部 (数学科、物理学科、情報科学科)	応用数理
理学部 (物理学科、化学科)	物理・化学
理学部 (化学科、生物学科)	ケミカルバイオロジー
理学部 (生物学科、化学科、情報科学科)	生命情報学
生活科学部 (人間生活学科)	消費者学

※応用数理、物理・化学、ケミカルバイオロジー、生命情報学の4プログラムは、理学部全学科と生活科学部食物栄養学科、人間・環境科学科のみ選択することができます。

詳細は「授業時間割」冊子を参照してください。



履修モデルプラン

学部別に将来を見据えた履修プランのモデルケース。

<主プログラム+強化プログラム>の組み合わせを基本に、下記のような多様な選択が可能となります。

履修モデルプラン

文教育学部



私は将来、NGOや国連など、国際的な場で活動したいと思っています。それで、国際情勢などについて幅広い視野を身につけるため、グローバル文化学環の「主プログラム」を選びました。自分の英語力の強化のために英語圏言語文化コースの「副プログラム」を、また将来、海外の子供たちに日本語を教えたいと思い、日本語教育「副プログラム」を選択しました。

グローバル文化学環 主プログラム + 英語圏言語文化コース 副プログラム + 日本語教育コース 副プログラム

卒業後、子どもの気持ちがわかるような小学校の教員になることを目指しているので、小学校教諭の教職課程の科目を多数含んでいる教育科学コースの「主+強化プログラム」を選択して、教育科学の基本を広く学び、さらに子供の発達にかかわる知識、特にカウンセリングについての基礎を学ぶため、生活科学部の発達臨床心理学の「副プログラム」を選択する予定です。

教育科学 主プログラム + 教育科学 強化プログラム + 発達臨床心理学 副プログラム + 教員免許 取得課程



理学部



将来は高校の生物の先生として活躍したい私は、生物学を重点的に学びたいので、教員免許取得課程と共に生物学科の「主+強化プログラム」を選択する予定です。最先端の生物学の研究を行った経験を生かしたいので、大学院を修了した後に教職につきたいと思っています。

生物学 主プログラム + 生物学 強化プログラム + 教員免許 取得課程

私はICT（情報通信技術）関連のグローバル企業で活躍したいので、情報科学科の「主プログラム」を選択することは決めていたのですが、新しい領域であるゲノム研究に興味があったので、情報科学と生命科学を融合した生命情報学「学際プログラム」を選択する予定です。

情報科学 主プログラム + 生命情報学 学際プログラム



複数プログラム選択履修制度なら、幅広い教養や深い専門性など、将来の目的に合わせて自分だけのプログラムを構築できます。



生活科学部



理系の私は、生活科学部で身のまわりの課題について理工学的に考えてみたいので、人間・環境科学科の「主+強化プログラム」を選択し、さらに情報技術への関心も高いので情報科学の「副プログラム」も選択する予定です。どちらも大学院での研究や職業につなげていきたいと考えています。

人間・環境科学
主プログラム

+

人間・環境科学
強化プログラム

+

情報科学
副プログラム

消費者問題に関心があり、公務員としてその仕組みづくりに関わるか、企業のお客さま相談室などに勤務したいと考えています。まず、生活社会科学講座の「主プログラム」で社会科学の基礎的な考え方を学び、消費者学「学際プログラム」で消費生活アドバイザーの資格取得に必要な科目を履修します。さらに、教育科学の「副プログラム」を選択し、消費者教育という視点からも考えることのできる力を養いたいと思います。

生活社会科学
主プログラム

+

消費者学
学際プログラム

+

教育科学
副プログラム



プログラム選択時期

● 文教育学部と生活科学部の文系

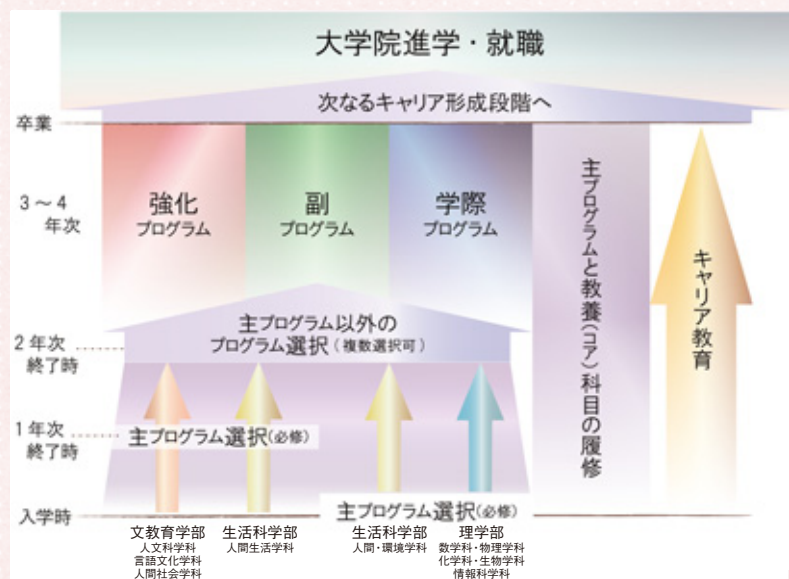


- ・「主プログラム」の選択は1年次終了時
- ・「主プログラム」以外のプログラムの選択は、2年次終了時以降

● 理学部と生活科学部の理系



- ・「主プログラム」の申請は入学時
- ・「主プログラム」以外のプログラムの選択は、2年次終了時以降



履修についての詳細は <http://www.ocha.ac.jp/nsep/> で確認できます。

主体的な学修プロセスの構築をサポートします

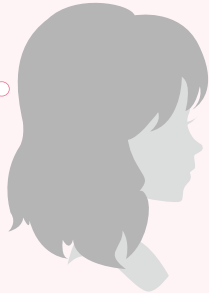
学修支援相談

一人ひとりの意欲やニーズに柔軟に対応する専門教育課程をサポートします。

グローバル企業で
活躍したい

国際機関で
働きたい

大学院に
進学したい



『何を学ぶのかを決めるのは皆さんですよ』と言われても、私にできるだろうかと不安になる人もいるかもしれません。

でも大丈夫です。

総合学修支援センターを設置し、これまで以上にきめ細かなサポートを実施しています。専門のスタッフが納得いくまで個別に相談に応じます。

相談できること

教職員や専門のスタッフ、または学生スタッフなどに、複数プログラム選択履修に関する様々な相談をすることができます。

● プログラム選択前の相談

- ・どんなプログラムがあるか
- ・履修シミュレーション
- ・履修方法について
- ・履修登録について

● プログラム履修中の相談

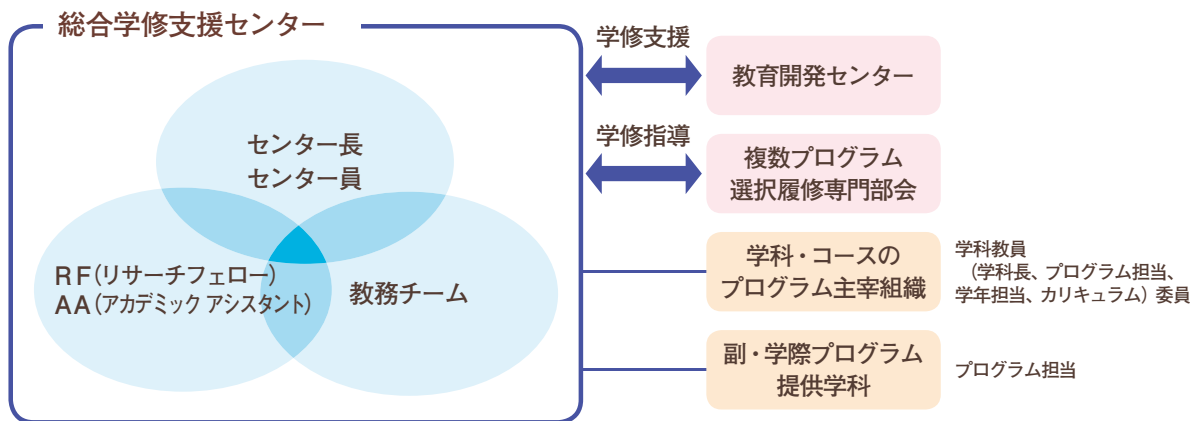
- ・科目履修取り消しについて
- ・プログラムの変更について
- ・成績評価（fGPA制度）について
- ・各種学修支援システムの使い方について
- ・単位認定について（他大学、インターンシップなど）

主体的にキャリア形成する、自主・自律の精神に富む女性になるための教育。
 お茶大型の新しい専門教育「複数プログラム選択履修制度」を、総合学修支援センターで、全面的にサポートします。



組織の概要

学内共同教育研究施設として、総合的な学修相談、学修指導などの支援を行い、本学の教育活動に資することを目的としています。



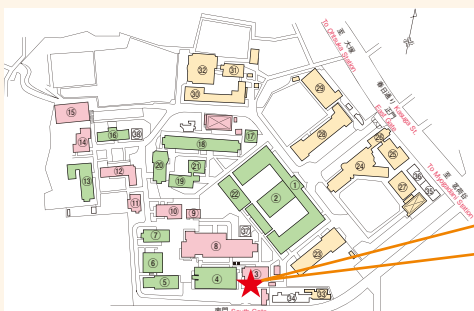
総合学修支援センター

● **21世紀型リベラルアーツ教育 [教養教育] による幅広い教養の学習**

1年次から、文系理系にまたがる5つのテーマに沿って学習し、広い視野から多角的に世界にかかわる問題を考察し理解する。

● **「複数プログラム選択型」専門教育により多様で主体的な学びの構築へ**

多様な学びを可能にする3方向のプログラムをキャリア形成に応じた自分のニーズに合わせて選択し、専門教育課程を生き生きと意欲的に自分自身でレイアウトする。



総合学修支援センター

場所：学生センター棟 1階 (101)

電話：03-5978-2047

E-mail：l-sc@cc.ocha.ac.jp

開室時間：月曜日～金曜日

8：30～17：00

※都合により開室していない場合もあります。長期休業期間を含む休室日は、学生ポータルでお知らせしますので、確認してお出てください。